

1年国語科「動物の知恵なかよしマップを作ろう ～『子どもをまもるどうぶつたち』～」

学習指導者 小出 早織

「自分のお気に入りの動物の知恵を見つけて、動物カードを作り、動物の知恵なかよしマップを作ろう」という単元のゴールに向けて、それぞれの動物の知恵についてカードにまとめてきました。本時は、6枚の動物カードを用いて、知恵やその理由の共通点や相違点に着目し、班の友達と一緒にいろいろな仲間分けの仕方を試すという諦めずに試行錯誤する方法を身に付けさせました。

いろいろな仲間分けの仕方を見付けよう

【見通し】



学習計画を基に、ペアで様々な仲間分けの仕方を見付けられたという成功体験を想起させ、本時の学習課題を確認しました。その際、理由も併せて問うことで、「ペアで話し合っ  
て新しい仲間分けの仕方を見付ける  
ことができたから、今日は班の人たち  
とやってみよう」と本時の学習  
への意欲を高めました。

【行動】

自分が調べたお気に入りの動物  
について紹介した後、動物の  
知恵やその理由が書かれたカー  
ドを見比べ、共通点や相違点を  
手掛かりに仲間分けを行い、マ  
ップに表しました。自分でマッ



ップを作った後は、それぞれが考えた仲間分けの仕方  
その理由について交流しました。その際、実際に自分  
の手元にあるカードを使って、友達の仲間分けの仕方  
その理由を聞きながら操作することで、「自分のカードを  
動かして試すと、友達の考えがよく  
分かったし、新しい仲間分けの仕方  
を見付けることができたよ」と、  
友達の考えをより理解し、友達の考  
えから学びを広げていました。



【振り返り】



振り返り際には、友達と話し  
合う中で、面白いな、なるほどな  
と感じた考えはあったか問いかけ  
ることで、友達と互いの考えを共  
有することのよさやいろいろな仲  
間分けの仕方を試すという諦めず  
に試行錯誤する方法のよさを感じ  
ていました。

成果と  
課題

○知恵をカードにまとめたことで操作しやすく、何度でも自由に試しながら、様々な仲間分けの仕方を見付けることができた。友達と一緒にいろいろな仲間分けの仕方を試すと新しい考えが見付けられるという方法のよさを感じていた。

▲自分が考えた仲間分けの仕方について説明する際の手立てが必要だった。自己調整するための方法と国語科として付けた力、言語活動の三つの組み合わせがぴったりと合った授業になるようにする必要がある。